

平成27年 萩市議会3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	5	佐々木 公 惠	3月9日午前
2	1	五十嵐 仁 美	
3	10	関 伸 久	午後
4	24	諸 岡 皓 二	
5	3	大 久 勲	
6	7	美 原 喜 大	
7	18	守 永 忠 世	3月10日午前
8	9	佐々木 武 夫	
9	2	石 飛 孝 道	午後
10	23	宮 内 欣 二	
11	11	西 中 忍	
12	14	大 村 赳 夫	3月11日午前
13	19	斉 藤 眞 治	
14	16	中 野 伸	午後
15	12	波多野 勝	
16	17	松 尾 義 人	

質問順位	1	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. がん対策の推進について	1. がん検診の受診率向上について 2. 胃がんリスク検診の導入について 3. がん教育の取組みについて		
2. 福祉・女性の視点からの防災対策について	1. 災害時要援護者の避難支援について (1) 災害時要援護者の把握と個別支援体制について (2) 福祉避難所の充実について 2. 女性の視点を取り入れた防災対策の充実について (1) 避難所の開設と運営について (2) 防災訓練について		

質問順位	2	質問者	五十嵐 仁美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 子どもの医療費助成について	<p>1. 地方版総合戦略を策定するにあたり、若い世代の子育て支援についてどのような政策を考えているか。</p> <p>2. 阿武町は、中学校卒業まで子どもの医療費無料化に踏み切ったが、萩市でも踏み切ってはどうか。</p>		
2. スクールハラスメントについて	<p>1. 萩市内の学校で教師による生徒へのセクハラがあったと聞いたが、今の萩市内の学校の実態はどうか。</p> <p>2. 体育の時の着替えや身体測定の時など、児童・生徒への配慮は十分されているか。</p> <p>3. 萩市内の学校で教師による児童・生徒への体罰も含めた嫌がらせやいじめは、行われていないか。</p>		
3. 中津江地区の高齢者の交通対策について	<p>1. ビッグまでのバス（まあーるバス）の利用状況について。</p> <p>2. 中津江地区の特に中津江団地の高齢化率と交通機関の利用状況について。</p> <p>3. 中津江地区の方が、まあーるバスを利用できるか。</p>		

質問順位	3	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 民間活力を生み出す為のキャリア教育を	<p>1. 今、萩市における喫緊の課題は、労働力の圧倒的不足である。観光イヤーの幕開けにもかかわらず、観光産業に従事する労働力が不足し、十分なおもてなしができるかどうか、事業者は頭を悩めている。これは、観光業に限らない。あらゆる業種で労働力が不足しており、新聞の折り込みチラシには、人材募集の活字が躍る。特に若年者の労働力が不足している。この状況を目の当たりにし、進む人口減少が萩市の域内経済に影響を及ぼすことを懸念している。事業を拡大したくても、人材不足が理由でできない。これでは、萩市の民間活力は生まれない。</p> <p>一方、萩市圏域の高校を卒業する生徒の10人のうち約9人は市外に進学・就職先を求めている。これが現状だ。しかし、私はこれを否定しない。自らの能力を發揮できる場所として、その活躍の場を市外に求めることは、当然の帰結である。それは、本人はもちろん、その親御さんも強く求めていることだ。井の中の蛙よりも大海を知ってほしい、これが本音ではないか。</p> <p>しかし、都会で就職するも数年したら望郷の念に駆られて、萩市に戻ってきたい、そういう人は一握りとは言えないくらいいる。こうした人の受け皿整備が大変重要だ。その時に雇用の受け皿があればいいが、ない場合は、業を起すしかない。起業である。今、萩市では「起業化支援助成金制度」を設けて頂いており、その環境は整いつつある。問題は、チャレンジするマインドである。そのマインドを学校教育、とりわけキャリア教育のなかで醸成させる必要があるのではないか。ここ萩市は、明治維新を契機に明治政府に多数の人材を輩出した。その影で、実業界にも多くの人材を輩出している。それは藤田伝三郎であり、久原房之介に代表される。</p> <p>実業界・経済界にも果敢にチャレンジして大成した人がいるのである。松陰教育も必要ではあるが、こうした人の顕彰も兼ね、キャリア教育のなかでチャレンジする子どもたちを育てるべきではないか。教育長の所見をお伺いしたい。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
2. 萩市の子どもは萩市で育てる、その施策について問う	<p>1. 先に高校を卒業する生徒がその活躍の場を市外に求めること、それは大変結構なことだと述べたが、せめて高校までは市内の高校に進学して欲しいというのが本音だ。しかし状況は刻々と変わりつつある。平成 28 年度には県内公立高校の受験が全県一区になり、高校進学時点でその選択肢が市外になることが懸念される。「萩市の子どもは萩市で育てる」これを実現するには、都市間競争を勝ち抜かなければならない。そこで萩市の子どもを萩市で育てる為の施策があれば、併せてお伺いしたい。</p>
3. 日本ジオパークを産業復興の物語に見立て、一次産業と萩焼業界の振興を	<p>1. いよいよ萩市は日本ジオパークの認定にむけて動きはじめた。</p> <p>その先には世界ジオパークを見据えていることと思う。世界ジオパークの認定となれば、それは世界遺産と同格の位置づけになると仄聞している。萩市の世界遺産登録については、まだ予断を許さないものの、仮に世界遺産登録と世界ジオパーク認定が叶えば、萩市は唯一無二の存在となる。これを目指して、観光振興を図るべきである。萩市の人口を 2 倍にすることは難しくても、これらにより観光人口を 2 倍にすることは十分可能だ。</p> <p>また経済という視点で、ジオパークを見れば、世界遺産よりもポテンシャルは大きく、その裾野は広いと考える。火山活動によって育まれたこの萩市の大地は肥沃な土壌を有し、そこに湧き出る水はおいしい農産物を育てている。また萩市の伝統産業である萩焼の土も見島土などが使われ、その恩恵に浴している。これは、火山活動の物語でもあるが産業復興の物語でもある。是非、こうした萩ならではの物語を紡いで、民間活力を生み出して欲しい。</p> <p>今、萩市における農林水産業に代表される一次産業や萩焼業界は苦境に喘いでいる。今回の日本ジオパークの取組みをその復活の狼煙としたい。どういう物語をどういうタイムスケジュールで紡いでいくのか、市長の所見をお伺いしたい。</p>

質問順位	4	質問者	諸岡皓二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 人口減少対策について	1. 増田レポート「地方消滅」から、萩市再生に対しての具体策は		
2. 観光行政について	1. 観光地のバリアフリー化について		
3. 日本ジオパーク認定申請について	1. 組織体制は、充分か 2. 市民への納得、理解、対応は充分か		

質問順位	5	質問者	大久 勲 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 大河ドラマ館・旧明倫小学校校舎について	1. 大河ドラマ館への来場者は年間目標の40万人へ順調に推移していますが、そのお客様をいかにして旧明倫小学校校舎・藩校明倫館諸跡への誘客に繋げていけるかについて		
2. 御成り道の一方通行規制について	1. 周辺住民への説明会の反応及び今後の規制実施の計画について		
3. 少子化対策について	1. 社会企業家小室淑恵さんが「真の少子化の原因は男性の長時間労働にある。」と問題提起されています。「tedx 長時間労働」で検索するとそのプレゼンテーションが動画で見ることが出来るのですが、小室氏が提唱している長時間労働をやめるという選択により、少子化問題へ立ち向かってみませんか。		
4. 魚食普及施設計画策定事業について	1. 事業内容について		
5. 地域おこし協力隊について	1. 安倍総理が人員3倍増を掲げる政策ですが、農林水産および観光関連の募集ばかりです。不動産・金融といった萩市に絶望的に不足している分野の専門人材を募集してはどうですか。		
5. プレミアム商品券について	1. 萩市での実施計画について		

質問順位	6	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 合併後 10 年を振り返って (検証)	<p>1. 合併後 10 年を振り返って、市長はこの合併をどう思っておられるか？</p> <p>萩市全体と（合併協議の中、離脱劇を催し、今回の大災害等を受けた）萩市東部について所感をお聞きする。</p>		
2. 光ケーブルの導入について	<p>1. 萩市東部の光ケーブルの導入について、事業者からもその期待が高い。</p> <p>現状と今後について聞く。(ぜひ導入の方向で対応願いたい。)</p>		
3. 災害復旧について	<p>H25 年 7 月の林道災害について</p> <p>1. 東部 (須佐・田万川・むつみ) の全林道の被災の現状 (補助対象外も含む) を把握されているか。被災状況が分かる状態にはしておいてほしい。</p> <p>2. 災害復旧の対象にしている林道とそうでない林道の区分けは何を基準にしているか。(法的根拠が示せるか。)</p> <p>3. 災害復旧の対象になっていない林道を今後どうするのか。(合併 10 年を迎えるに当たり、合併前まで設置・管理に努力してきた町村長に対し、この現状のままの放置は痛々しい。)</p> <p>災害復旧事業では、もう実施できないが、林業振興からは何らかの復旧が必要である。(管理者の責務である。) 実際、市有林も多くあり、民有林も枝打ちをされ伐採時期に来ているところもある。(広谷林道)</p> <p>その対応を聞く。</p> <p>4. 作業道の復旧について自ら復旧できるところへの支援策 (20 万円事業のような施策の継続) と自ら復旧できないところは市での対応を考慮してほしい。また、それらを周知してほしい。</p>		

質問順位	7	質問者	守永忠世議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 認知症対策について	1. 行政の対応・現状についてお考えをおたずねいたします。		
2. 子供の体力・調査結果について	1. 文部科学省による「体力・運動能力調査」についておたずねをします。		
3. 公立小中学校の学校給食について	1. 学校給食に牛乳は必要かどうか、給食のあり方。食文化・栄養をめぐる論争が起きていますが、お考えをおたずねします。		

質問順位	8	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 仲が良く助け合える住みよい町萩にブランドと宝のある町萩の雇用創出について	1. 老人のゴミ出しと独居老人の手助け対策について 2. 萩のブランド作りと宝作りについて 3. やる気のある人を大事にした雇用創出の場の提供を		
2. 災害や防災に備え、再生可能エネルギー活用の明るい町づくりについて	1. 再生可能エネルギー活用施設の促進と優遇制度導入について 2. 緑の贈与制度などの将来を見すえての対策について 3. 離島のエネルギー施設利活用について		

質問順位	9	質問者	石 飛 孝 道 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 6次産業化について	1. 生産（農林水産物の確保） 2. 加工（施設の対応） 3. 流通（販路開拓）		

質問順位	10	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 農山漁村の現状と活性化をどう進めるのか	<p>1. 合併10年での周辺部となった農山漁村の現状をどう捉え、これまでの振興策についてどう評価し、どんな新たな施策を構築するのか。</p> <p>2. 農山漁村の維持のための1%理論をどう具体化するか。地域内経済の地産地消循環など具体化する考えはあるか。たとえばソーラーシェアリング農業、地域材でのエネルギー自給、学校の子どもの机椅子のような製品の自給など、具体的な取り組みをどう考えるか。</p> <p>3. 農業の振興策を法人化、大規模化だけを対象に進めているのか。中核的担い手となる個人農家にも十分な配慮が必要ではないか。</p> <p>また、定住を望んで田舎の田舎に移住する人のめざす方向とミスマッチしているのではないか。新しい農業の受け皿を考えるべきではないか。</p>		
2. 学校統廃合の萩市の方針について	<p>1. 文科省が公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引の改正をするという方針だが、萩市は学校の適正規模、配置について学校統廃合とともにどんな方針で臨むのか。</p> <p>2. 地域コミュニティの核としての存在、コミュニティスクールの推進との整合性をどう考えているか</p> <p>3. 定住促進と統廃合をどう考えるか。</p>		
3. JR山陰線の市内駅の利用者の立場に立った総点検と改善について	<p>1. JR山陰線は、無人駅になり、利用者の立場に立った改善が求められている。総点検を行い、JRに改善を求める考えはないか。</p> <p>2. 須佐駅の跨線橋階段の水たまり、駅ホームと列車の隙間、駅ホームと車両の段差の解消をどう図るか。</p>		
4. 災害復旧とその対応について	<p>1. 被災地で健康不良を訴える人がいる。被災地住民の健康調査を実施する考えはないか</p> <p>2. 須佐の港橋が被災して通行不能になり、不自由になっていることから、田万川・須佐循環バスを、新港橋経由で漁港を通る路線に変更できないか。</p>		

質問順位	11	質問者	西中忍議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 学校施設を除く公共施設の耐震化の予定は	<p>1. 市内の小・中学校施設は、児童・生徒が安心して学習できる環境を提供するという観点から、計画的に耐震工事が行われ、平成28年度末までには、全て完了する予定になっています。</p> <p>しかし、市内にある公共施設の中には、耐震性を持たない建物が多くあるのではないかと思います。</p> <p>公共施設は、その多くが災害時の避難場所に指定されていることもあり、耐震性は必要だと思います。</p> <p>そこで、市内公共施設の耐震化がどの程度進んでいるのかお尋ねします。</p> <p>また、公共施設の中でもイベント等で一度に多くの市民が集まると予想される、萩地域にある市民体育館や市民館、各地域にある体育館やホール等の耐震性はどうなっているのかお尋ねします。</p> <p>さらに、耐震性がない建物の耐震化をどう進めていく考えなのか、市長の所見をお尋ねします。</p>		
2. 旧明倫小学校の耐震化された体育館は、今後どうなるのか	<p>1. 明倫小学校は耐震化のため、耐震性のある旧県立萩商業高校の校舎や体育館、プール等を改修するとともに、教室棟や給食調理室等を新築し移転しました。</p> <p>そして、残された旧明倫小学校の体育館は、現在、大河ドラマ館として活用されています。</p> <p>旧明倫小学校の体育館は、耐震補強工事が行われていることから、全国から来萩されるお客様を安心してお迎えすることが出来ることや、市有財産の有効活用という観点からも、この体育館を大河ドラマ館として利用するという事は、大変に良い活用方法だと思います。</p> <p>しかし、この大河ドラマ館も来年1月までと期限が決まっており、その後、この体育館をどのように活用していくのか気になります。</p> <p>そこで、大河ドラマ館閉館後、耐震補強が行われているこの旧明倫小学校体育館をどのように活用していく考えなのか、市長の所見をお尋ねします。</p>		

質問順位	12	質問者	大村 赳夫 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩・幕末維新検 定試験等について	<p>1. 明治維新150年記念事業の一環として萩・幕末維新検 定試験が実施されました。</p> <p>検定試験の結果と展望を聞きます。</p> <p>ものしり検定に関連して聞きます。</p> <p>ジオサイト狐島は活火山・死火山・休火山ですか。分類 上の問題について聞きます。</p>		
2. ふるさと納税に ついて	<p>1. 27年4月からふるさと寄付に係る税額控除の拡大等制 度改正に伴い、なお一層のふるさと納税PRにより、納税 の倍増・3倍増も視野に入ります。</p> <p>ふるさと寄付推進事業の内容と展望を聞きます。</p>		
3. 教育委員会によ る高校生への交通 費助成について	<p>1. 高校生への交通費助成問題についてその理念について聞 きます。</p>		

質問順位	13	質問者	斉藤真治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 地方自治体は、地方創生にどう対応すればよいのか（安心なまちづくり）（地方創生特別区（特区）への模索）（地方創生先行型支援計画、社会保障の充実計画の策定）（「限界集落」を支える新たな休暇制度を求めて）</p>	<p>1. 安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の安全・安心な暮らしの確保のための各小学校校区単位による事前防災・減災計画策定にむけた地域研究会の設置の必要性は。 （ゲリラ豪雨による水害や土砂災害へのインフラ整備、公道（市道・県道・国道）の安全対策） <p>2. 地方創生特別区（特区）への模索</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方の情熱に応えた規制改革を進める地方創生特別区（特区）への対処策は。 <p>3. 平成26年度政府補正予算及び、平成27年度政府予算から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民生活等緊急支援交付金、地方創生先行型支援計画の策定及び、社会保障の充実計画策定の現況は。 <p>4. 「限界集落」を支える新たな休暇制度を求めて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会で働く若者（後継者）が、故郷（田舎）に帰省し農業を担える新たな休暇制度の新設を政府に求めている。 		

質問順位	14	質問者	中野伸議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 道路行政	1. 国道、県道の整備・進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> ・国道191号、262号、315号整備状況 ・県道萩津和野線整備状況 		
2. 観光行政	1. NHK大河ドラマ「花燃ゆ」について <ul style="list-style-type: none"> ・「花燃ゆ館」入場状況 ・新山口～直行便の利用状況 		
3. 少子化危機突破のための緊急対策	1. 緊急対策の柱「3本の矢」の進捗について <ul style="list-style-type: none"> ・結婚・妊娠・出産支援（産後ケア） 		

質問順位	15	質問者	波多野 勝 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 地方創生に向けた実効性ある外部人材の活用について	<p>1. 地方創生に取り組むにあたり、萩市においては、どのような人材が必要であるとお考えでしょうか。</p> <p>「日本版シティマネージャー制度」や国の各府省庁の相談窓口となる「地方創生コンシェルジュ制度」については、どのようなご認識をお持ちでしょうか。</p> <p>国の制度である「地域おこし協力隊」については、地方創生の中でも増強が図られており地域の課題解決のための人材確保策として活用してはどうかと考えますが。</p>		
2. 高く売れる6次産業化の推進について	<p>1. 萩市における6次産業化の取り組みは、どのような方針の下で何に重点を置いて行なわれているのでしょうか。</p> <p>生産物をより高く売るための、6次産業化の取り組みとして、健康食品や、機能性のある生産物などの分野には、今後大きな可能性があるのではないのでしょうか。</p> <p>萩市におきましても、大学や試験研究機関、民間企業などと連携し、市内産を生かした健康食品の開発に取り組んではいかがでしょうか。</p>		

質問順位	16	質問者	松尾義人議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の組織について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 復興局の今後の体制について 2. 技術系職員の配置及び採用計画について 3. 各総合事務所の今後のあり方について 		
2. 三見地区の交通確保について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 防長バスの停留所の増設について 2. まあーるバスのコースの新設について 		